

H A Fプロジェクト HAIBARA ACHIEVING FUTURES PROJECT

人材の還流

背景

少子高齢化と人口減少
 地場産業の衰退、観光客の減少
 外国人労働者の増加と地域社会の国際化

地域の現況

企業の生産拠点の集積
 充実したインフラ（高速道路、国際空港）
 行政機関、地元市民、地元企業の協力体制

地域社会を支える
 リーダーの育成

危機感の共有

榛高の役割

連携
 協力

研究開発の実施体制（コンソーシアム）

学校、教育委員会、学術機関（静岡大学教育学部、ふじのくに茶の都ミュージアム）行政機関（静岡県、牧之原市）、地元企業（矢崎部品、島田掛川信金ほか）、牧之原市民、地元小中学校などの協力体制構築

令和2年度の研究開発の基本方針

生徒が自ら体験する場をなくさない

研究開発の推進

令和2年度における新たな実績

- ・英語検定2級以上合格者増加（111人）
- ・実社会プログラム国内研修の実施（南九州、島根・鳥取）
- ・学校交流の実施（遠隔を含む）
 海外：ハロン大学、台中第一中等教育学校
 国内：宮崎県立宮崎大宮高等学校、市立札幌開成中等教育学校
- ・リモート発表会参加（Glocal High School Meetings 2021）他
- ・新時代を拓く高校教育推進事業（県）内定（学校設定教科研究）
- ・グローバル事業報告会（研究発表会/限定公開）

コロナ
 禍での
 制約

新型コロナウイルスの影響により中止または延期された事業

- ・シンガポール・マレーシア修学旅行
- ・国内外研修（アメリカ、台湾、ベトナム、沖縄、北海道）
- ・大学訪問（研究室訪問）
- ・学校設定教科・科目研究の一部

令和2年度の目標

1 総合的な探究の時間

1・2年生のカリキュラム開発

2 実社会プログラム

国内外研修の充実

地域リーダー育成プロジェクト

3 部活動

グローバル部の活動充実

4 その他の活動

学校設定教科・科目の研究

新教育課程の研究開発

コミュニティスクールの研究

令和2年度末の取組状況

進捗率 70%

✓ 海外研修旅行の中止と研究の停滞

進捗率 90%

✓ 研修目的・内容、研修先の再検討

- 遠隔講義による研修プログラム導入
- 国内研修の充実（南九州、島根鳥取）

進捗率 90%

○ 活動の充実

進捗率 80%

- 学校設定教科科目の充実をはかる
- 新教育課程研究開発完了
- コミュニティスクール設置（内定）
- 遠隔交流の充実（台湾、ベトナム）

成果と課題

○ 探究学習の手法を習得

1年生総合的な探究の時間の充実

○ 課題解決型学習の充実

国内研修（南九州、島根・鳥取）

企業訪問、大学訪問、学校交流

イングリッシュ・キャンプ

レポート作成とプレゼン体験

◎ 新教育課程の研究

グローバル型、サイエンス型コース設置

○ 学校設定教科・科目の研究

令和3年度設置予定

総探（地域創造探究Ⅰ～Ⅲ）

総探（発展地域創造探究）他